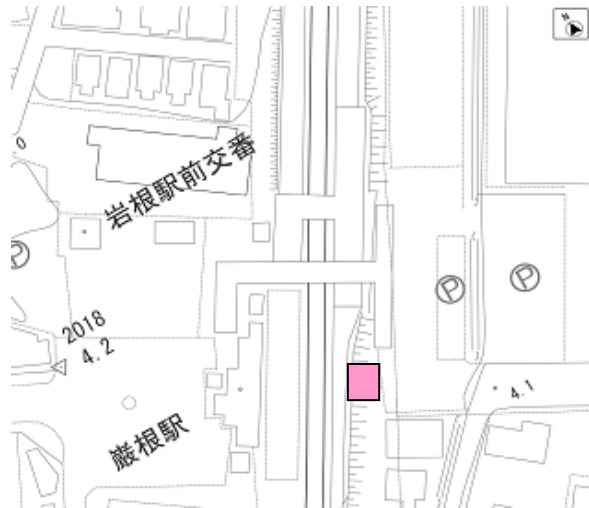


1. 東口に平面改札を作成するケース



■ : 新設する東口改札

特徴

- ・下りホームにスロープで接続する新たな東口改札を設置する。
- ・現在の西口改札は上りホームに平面で接続されている。

問題点

- ・新たな改札の設置については、JRが難色を示す可能性が高い
- ・階段を使わないと往復で別の改札を使用することになる。
- ・反対側の改札には踏切まで迂回して行くことになる。

3. 改札と構内エレベーターを設置するケース



■ : 新設する東口改札
■ : 新設する構内エレベーター


特徴

- ・ケース1と2の併設案であり、東西両側からのアクセス性は同じ程度に容易になる

問題点

- ・新たな改札の設置については、JRが難色を示す可能性が高い

2. 構内の階段にエレベーターを設置するケース



■ : 新設する構内エレベーター

特徴

- ・構内の階段部分にエレベーターを設置する。
- ・現在の西口改札は上りホームに平面で接続されている。

問題点

- ・東口側からの利用の際には、自由通路が階段のため、踏切まで迂回して行くことになる。

4. 自由通路に橋上駅を併設するケース



■ : 新設する橋上駅(改札含む)
■ : 新設する構内エレベーター
■ : 新設する市道エレベーター

特徴

- ・構内の階段と自由通路の双方にエレベーターを設置する。
- ・東西両側からのアクセス性は同じ程度に容易になる。
- ・現在の駅舎は廃止可能となる

問題点

- ・線路上に人工地盤を設けるので事業費が高くなる。
- ・エレベーターは4基を設置する必要がある。

※ これらの提案は近藤の発想によるもので、JRとの協議が行われている物ではない